排水設備等工事チェックシート(共同管用)

計画確認	完了届
------	-----

事業者名:

データ更新年月日: R7.3.27

確認事項		備考	施工者	市
一 污水管	1 管の口径はφ150mm以上のものを使用している。		☐	☐
	2 勾配が基準を満たしている φ150: 1.7%以上 φ200: 1.5%以上 φ250: 1.3%以上		☐	☐
	3 排水管の延長が、その管径の120倍を超えない範囲で柵を設置している		☐	☐
	4 排水管を建築物等の真下に配管していない		☐	☐
二 污水柵	1 柵の口径はφ300mm以上のものを使用している		☐	☐
	2 それぞれの柵の市章の有無は適切か (公共下水道本管から取り出した最初の柵のみ市章あり・他は市章なし)		☐	☐
	3 最低土被りを確保している 私道: 45cm 公道: 60cm(道路管理者へも確認が必要)		☐	☐
	4 それぞれの柵の耐荷重は適切か 宅地内: 8t以上 道路部: 25t以上(公道部は道路管理者への確認も必要)		☐	☐
	5 屈曲点や会合点には必ず柵を敷設している		☐	☐
	6 柵の深度に対しての柵の口径は基準を満たしていたものを使用している 深度160cmまで: 柵径30cm(硬質塩化ビニル製污水柵) それ以上: 柵径75cm(コンクリート製0号人孔)		☐	☐
	7 既設公共柵を再利用する場合、設置後の経過年数が30年未満であることを確認している。 (30年以上経過している場合は施設整備課と協議。鉄蓋の裏に柵の製造年が刻印されている)		☐	☐
三 その他	1 接続先が私設下水道(排水設備)の場合は接続や使用にかかる同意を得ている。		☐	☐
	2 工事調書に、縮尺及び方位を記載している。		☐	☐
	3 (完成届の場合のみ) 計画確認時から柵の増減、ルートの変更(系統の増減)はない。 増減がある場合、市に変更届を提出している。		☐	☐